



ここは第2のふるさと、
地域と国超え、あふれる笑顔

▲会では全員で「ふるさと」と「四季の歌」を歌いました。歌う下田和夫会長とマイクを持つ歌唱指導の坂下智子監事。

一戸町国際交流協会の設立十周年記念式典が七月五日にコミュニティセンターで行われ、関係者たち約百三十人が節目の年を祝いました。同協会は、諸外国と交流を進める団体への支援活動や国際協力の意識、国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的としています。式典で下田和夫会長は、これまでの活動を振り返り「皆さんのが理解とご指導、そして温かいご支援のもとに未来につながる大きな会にしたい」と決意を新たにしました。

続いて駒木二郎前会長に協会から感謝状が贈呈され、祝賀会では中国やベトナムの研修生たちが歌などを披露し、楽しい時間を過ごしました。参加した夏井敏明・ヴァン夫妻は「協会が縁で結婚しました。生活習慣は異なるけれど、お互いを知る良いきっかけになります」とお子さんを抱き、笑顔で話してくれました。



⑤祝賀会でみんなで乾杯、町婦人体力づくりサークルの皆さんもお祝いに駆け付けました
⑥祝賀会では、中国へ帰国する研修生から、一戸の皆さんへ感謝の言葉が送されました

▶お話を聞いた夏井敏明・ヴァン夫妻 愛息子の芳樹くん

編集後記

地産池消に取り組む方に取材させていただき、どうぞお読みください。豊かな環境がより良いものになることを熱心に考え、熱意が伝わってきました。豊かな環境が豊かな人材があつてこそ再認識しました。▼その中で、表紙にも登場していただいた峠館泰之さん。10泊のサマースクールの昼食づくりや一戸中学校の総合学習の講師として、その経験を伝えたりと今月はお会いする機会が多くありました。▼「家も農家で、本当に厳しいけれど、地域でまとまり、若い人も価値を見出せる農業につなげたい。その地域の食材で作り上げたソーセージだから、まず町の人々に食べてもらいたい」と工場でひとり、黙々とソーセージを作る泰之さん。豊かな経験と確かな技術、実直な人柄を感じました。

総務課庶務係 久保田太一

●広報いちのへ8月号の印刷経費は1部48.4円です



広報いちのへは、環境に配慮し、大豆油インキとFSC認証紙を使用しています。

★「個が光る調和のまち・一戸」の創造を目指して

広報いちのへ Ichinohe

Aug
2009
No.565

8

地



産



特集 *Special edition*

いちのへ、いいもの

いただきます

「地産地消」って何でしょう。その意味は「地元でとれたものを地元で食べること」。でも、それだけではありません。地産地消の営みがわたくしたちに与えてくれるものを想像してみてください。四季折々の新鮮な食材が手に入ること、食材をつくる人と食べる人の顔が見える関係、安全・安心で健康的な食や暮らし…。きっと、まだまだ見つかるはずです。特集「いちのへ、いいもの、いただきます」。豊かな自然と人の情熱あふれる一戸町。まちの皆さんと地産地消の可能性と未来を探ります。



「顔と顔が見え、話をする」関係で結びつきが強まる産直施設（イコオ産直センター）

地



消



衆議院議員総選挙投票日

8月30日(日)

投票時間は午前7時から午後6時まで

■期日前・不在者投票は、

衆議院議員総選挙・小選挙区、比例代表 8月19日～29日

最高裁判所裁判官国民審査

8月23日～29日

◎時間 午前8時30分から午後8時まで

◎場所 役場1階会議室



投票所名	施設などの名称
第1投票所	萬代館
第2投票所	一戸町役場
第3投票所	一戸南小学校
第4投票所	女鹿館自治公民館
第5投票所	中女鹿地区自治公民館
第6投票所	小友ふれあいセンター
第7投票所	鳥海地区介護予防拠点施設
第8投票所	月館自治公民館
第9投票所	岩清水集会所
第10投票所	出ル町つどいセンター
第11投票所	上小友自治公民館
第12投票所	樅山へき地保育所
第13投票所	双畳多目的集会施設
第14投票所	来田地区世代交流センター
第15投票所	八木沢自治公民館
第16投票所	鳥越小学校
第17投票所	根反自治公民館
第18投票所	小鳥谷地区公民館
第19投票所	サラダボウル・こずや
第20投票所	小繫多目的集会施設
第21投票所	小繫児童館
第22投票所	奥中山農業団地センター
第23投票所	奥中山高原軽井沢プラザ
第24投票所	摺糠自治公民館
第25投票所	宇別へき地保育所
第26投票所	平糠保健福祉館
第27投票所	姉帶地区多目的集会施設
第28投票所	面岸保健福祉館

【第1投票所が変更になります】

第1投票所が「萬代館」に変更になります（これまで高齢者創作館）。

車でお越しの方は、一戸まつりの交通規制のため、県道を通行できない時間帯（14：00～16：00）がありますので、ご注意ください。

駐車場は、旧一戸小学校跡地をご利用ください。

【投票時間は午後6時まで】

投票所で投票できる時間は、午前7時から午後6時までです。忘れずに投票しましょう。

国政選挙では、岩手県内で特に県北地区の投票率が低い傾向にあります。平成17年に行われた前回の衆議院議員総選挙では、一戸町の投票率は約66%（小選挙区）でした。

選挙は、有権者の意思を表す大切な制度です。棄権せずに投票しましょう。

【郵便での不在者投票】

「郵便での不在者投票」とは、身体に障がいなどがあるため、投票所での投票が困難な方のための制度です。

この制度は身体障害者手帳、戦傷病者手帳、介護保険で「介護度5」の認定を受けている方が対象ですが、障害等級などにもありますので、詳しくは選挙管理委員会までお問い合わせください。

また、身体的障がいにより、自分で投票の記載ができない方には、代理の人に記載してもらえる制度もあります。

詳しくは選挙管理委員会 33-2111（内線580）へお問い合わせください。

つくろうよ 明るい未来を 一票で

(H19明るい選挙標語コンクール最優秀賞 盛岡市 古館葵さんの作品)

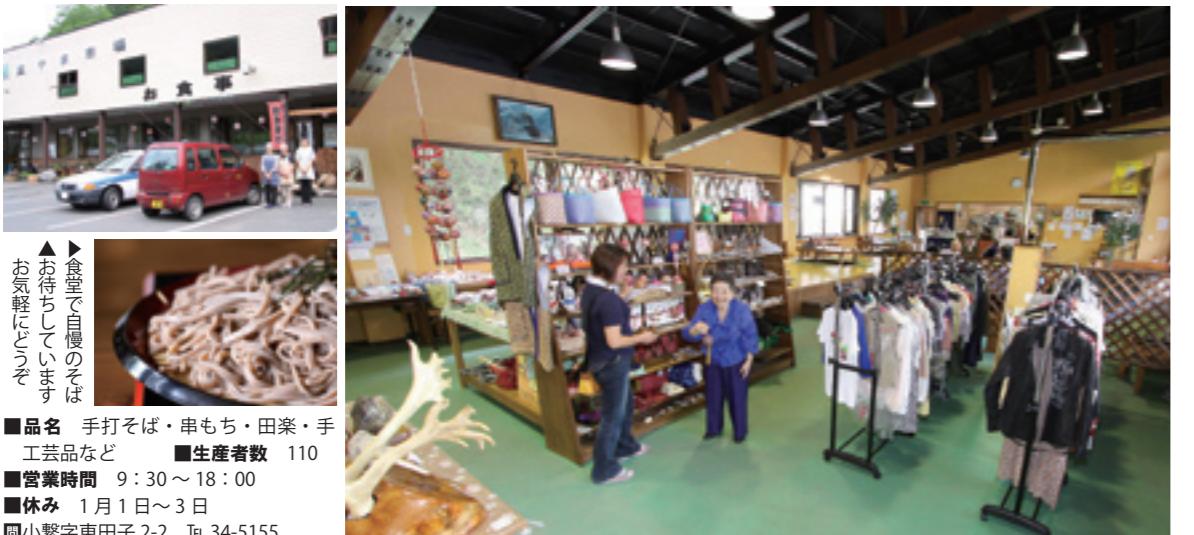
■奥中山の豊かな実りが一堂に
チヤレンジ精神が息づく産直
紹介

産直 奥中山高原

昨年、五月にオープンした「産直 奥中山高原」。奥中山の高原野菜、奥中山高原農協乳業(株)の乳製品、力ナンの園のパン、さらには精肉と豊かな奥中山の食材をお客さんに提供していることが大きな特長です。

「奥中山の特長は出ている反面、大規模な専業農家が多いため、それらの出荷に追われ、種類を増やすことができないのが現状。今後は、品数を増やしたり、加工品をみんなで勉強していく」とおきたいと考へています」と話す大沼久司代表。

朝取りの新鮮な野菜が店頭に並び、町内外からたくさん的人が訪れます。



■品名 手打そば・串もち・田楽・手芸品など ■生産者数 110 ■営業時間 9:30~18:00 ■休み 1月1日~3日 開小繁字東田子2-2 Tel 34-5155

▲店内には農産物の他に食堂、民芸品や工芸品もあり、お宝に巡りあえるかも

一步、店内に踏み入れると地域の農産物のほか、かごや焼物など、地域の手芸品や工芸品がいっぱい。町内産だけにこだわらず、軽米町や三戸町など、広く地域のお宝を紹介するのが「産直 里やま市場」。季節には手ごろでおいしい山菜やきのこがぎざりと並びます。

「地域が少しでも元気になれば」と澤口勝司代表。障がいを持つ方の手づくり品も見られます。

食堂では町内産そば粉100%の手打ちそばが好評。遠方からそばを目当てに来るお客様も多いそう。テーブルにはサービスの漬物や野菜がたくさん出ています。

澤口代表は「地域の宝を紹介し、年配の方がさらに自由に利用しやすい施設にして、交流の場としても役立ちたい」と意気込みます。

■品名 手打そば・串もち・田楽・手芸品など ■生産者数 110 ■営業時間 9:30~18:00 ■休み 1月1日~3日 開小繁字東田子2-2 Tel 34-5155

■品名 山野草・山菜・キノコ・野菜など ■営業時間 9:00~18:00 ■休み 月曜(祝日の場合は営業) ※4月~11月中旬の営業 開小繁字下平5 Tel &Fax34-2522 (佐藤セイ子代表宅)



▲山野草の愛好家から根強い人気がある山野花菜。近くに小川が流れ、せせらぎが聞こえる

■品名 山野草・山菜・キノコ・野菜など ■営業時間 9:00~18:00 ■休み 月曜(祝日の場合は営業) ※4月~11月中旬の営業 開小繁字下平5 Tel &Fax34-2522 (佐藤セイ子代表宅)

■品名 山野草・山菜・キノコ・野菜など ■営業時間 9:00~18:00 ■休み 月曜(祝日の場合は営業) ※4月~11月中旬の営業 開小繁字下平5 Tel &Fax34-2522 (佐藤セイ子代表宅)

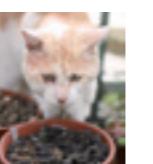
■品名 山野草・山菜・キノコ・野菜など ■営業時間 9:00~18:00 ■休み 月曜(祝日の場合は営業) ※4月~11月中旬の営業 開小繁字下平5 Tel &Fax34-2522 (佐藤セイ子代表宅)

■地域のお宝が勢ぞろい 町内産の手打ちそばも好評



澤口順子さん
串もちとこの田楽も好評です。「このそばがおいしい」というお客様の言葉が励みになります。

■山野草愛好家が県内外から 小さな産直に広がるつながり



看板猫: ミューン
7歳です。店の奥で店番をしています。お客様が来た時はご主人を呼びに行く看板猫です。

昨年、五月にオープンした「産直 奥中山高原」。奥中山の高原野菜、奥中山高原農協乳業(株)の乳製品、力ナンの園のパン、さらには精肉と豊かな奥中山の食材をお客さんに提供していることが大きな特長です。

「奥中山の特長は出ている反面、大規模な専業農家が多いため、それらの出荷に追われ、種類を増やすことができないのが現状。今後は、品数を増やしたり、加工品をみんなで勉強していく」とおきたいと考へています」と話す大沼久司代表。

朝取りの新鮮な野菜が店頭に並び、町内外からたくさん的人が訪れます。

「この産直は『農産物を見てほしい』と開いた場所。意見が食い違うときもあるが、『みんなでやつていこう』というチヤレンジ精神にあふれています。新鮮で安い産直に一度足を運んでみてください」と大沼代表は組合員の意気込みを話します。

■品名 高原野菜(レタス・キャベツなど)・パン・乳製品・肉類など ■営業時間 9:00~18:00 ■組合員数 32 ■休み 1月1日~3日 開中山字大塚247-4 Tel &Fax35-3335



▲新鮮食材でいっぱいです!好調なパン⑥自然豊かな立地

▼新鮮野菜でいっぱいの店内は組合員さんもお客様も元気があふれています ▼ピンクののぼりが目印です



■品名 野菜・キノコ・米・花苗・切り花・手芸品・山菜・果物・漬物など ■営業時間 5~10月 平日9:00~13:00 土日9:00~16:00
11月 土日9:00~13:00 12~4月 土9:00~13:00 ■組合員数 32 ■休み 8月13日~16日、12月30日~1月10日
※11月は土・日曜、12~4月は土曜に営業 開中山字大塚82-2 Tel &Fax35-3140

朝取り立ての野菜を店にそろえ、「もっとほしい」というお客様には、畑に行つて取つてくる「新鮮組」。その名どおり、新鮮な野菜は、ほとんどが百円、みんなでなるべく値上げしないで、新鮮なものを提供できるように努めています。 槻館正子代表は「店は、にぎやかでお客様もわたくちも元気になれます。みんなで話し合い、品数を増やしながら、自分たちの良さを伸ばしていきたいと思います。ピンクののぼりを目印にぜひ、いらしてください」と元気に話します。

野菜は、ほとんどが百円、みんなでなるべく値上げしないで、新鮮なものを提供できるように努めています。 槻館正子代表は「店は、にぎやかでお客様もわたくちも元気になれます。みんなで話し合い、品数を増やしながら、自分たちの良さを伸ばしていきたいと思います。ピンクののぼりを目印にぜひ、いらしてください」と元気に話します。

■奥中山の豊かな実りが一堂に チヤレンジ精神が息づく産直 紹介



大沼久司組合長
菌床しいたけと野菜全般を少しづつ手がけます。化学肥料などを抑えた安全安心な野菜を心掛けます。

■新鮮さにかける心意気 にぎやかな店内に広がる笑顔



桻館正子代表
8月はトウモロコシの最盛期、自信を持っておすすめします。冬のふるさとギフトもご利用ください。

■奥中山の豊かな実りが一堂に チヤレンジ精神が息づく産直 紹介

part 1

まずは、まちの産直へ 新鮮な食材と笑顔があふれます。

産直といえば、新鮮でおいしい食材。でも、それだけではないんです。加工品や工芸品など魅力的な商品がいっぱい。さあ、出掛けてみましょう。



まだまだ、あります。まちの産直。 人とのつながりに心も満たされます。



■他にない1品作りが合言葉 地域活性化の原動力に イコオ産直センター

高原野菜からきゅうり、トマトなど野菜全般、豆腐や漬物、はちみつ、せんべいなどの加工品など、全般的に品数が充実しているのが「イコオ産直センター」の特長です。

野菜は朝取りが基本。新鮮さを勝負にしています。「ただ、現在は店に並べるのが朝1回なので、夕方に買い物するお客様には、品薄でご迷惑を掛けているのが課題です」と話す柴田忠芳組合長。

冬場もお客様に喜んでもらえるようにネギやホウレンソウなど、作物づくりに取り組む組合員もいます。「1人1品、他にない作物づくり」を合言葉に取り組みます。

「一戸で取れた農作物を求めるお客様を大切にしたい」と柴田組合長。組合員の挑戦は続きます。



柴田忠芳組合長
さくらんぼ、梅を生産しています。組合員全体で会議をして、ふんどしを締めなおすとして取り組みます。



品名 野菜・果物・雑穀・山菜・キノコ・菓子・漬物・梅・竹細工など
営業時間 10:00~20:00
休み 1月1日
問い合わせ 一戸字砂森123-1 Tel &Fax32-3433



■他にない1品作りが合言葉 地域活性化の原動力に イコオ産直センター

■地域の人に合わせそろえた品 感謝を温かい心配りで返す グリーンふれあい

役場のそばに位置する「グリーンふれあい」は町内各地の生産者の協力を得ながら、平成4年の開業から、17年運営する産直の老舗。地域の人に合わせた品ぞろえに努め、地元産の新鮮な野菜はもとより、手づくりのお弁当やそば、もちなどが好評だ。なかでも冬場の午後5時を過ぎると、

店頭に並ぶおそうざいは地域の強い味方。「仕事で疲れた皆さんが、白いご飯に1品おかずを追加できれば」と東山江波代表が話すおそうざいは値段も良心的。

店内の休憩コーナーには、ポットにお茶が準備され、列車を待つ学生や買い物の一休みに気軽に利用できます。

「わたしは中国から来て13年間、優しい人が多いこの町で暮らしてきました。笑顔と気持ちで感謝を伝えます」と東山代表は話してくれました。

品名 野菜・米・果物・雑穀・山菜・キノコ・菓子・漬物・そば・うどんなど
営業時間 月~土曜 9:00~19:30
日曜 12:00~19:30
休み なし
問い合わせ 高善寺字大川鉢25-1 Tel &Fax32-3130



●種類が豊富な雑穀類
●厚揚げなど加工品も好評



●お弁当も人気の商品



●ありがたい休憩コーナー



東山江波代表
昔は、にらやトマトを作っていたけれど、今は、配達や片付けなど店の切り盛りで手いっぱいですね。

●食料品から生活用品まで全般にそろいます

■お客さんはみんなにこにこ 地域が愛する楽しい産直 ニコニコ駅こずや

IGR小鳥谷駅内に店を構える「ニコニコ駅こずや」に来店するお客様はみんなにこにこ。「何も買わなくてもいいから、話っこしていけばいいよ」と話し掛ける地域の農家のお母さん6人が切り盛りする地域密着型の産直です。

開店すると地域のおじいちゃんやおばあちゃん、駅の利用者がひっきりなしに訪れます。人気商品は開店と同時に炭火で焼き始める串もち。また、地場産のにんにくやりんごをふんだんに使い、組合員みんなで取り組んだオリジナルの焼肉のたれも人気。その他にホウレンソウやにんにく、米など農作物がいっぱい。さらに品数を増やすと話し合っています。

川畠久美子代表は「自分たちの駅だから人がいないとさびしい。地域の皆さんに親しまれ、長く続けたい」と話します。



●自慢の新鮮野菜が並ぶ



●憩いの場としても人気だ



川畠久美子代表
みんな立ち寄って話をできる楽しい店を目指します。それがわたしたちのやりがいにもつながります。

品名 串もち・野菜・米・自家製焼肉のタレなど
組合員数 6
営業時間 毎週 火・木・土・日 9:00~15:00
問い合わせ 小鳥谷字中屋敷1 Tel なし



●店内は、打ち解けた雰囲気の憩いの場です



一戸地区、小鳥谷地区にもあります、たくさんの産直。地域の喜ぶ顔が見たいと良質でおいしい食材を提供しています。さあ、みんなで一戸のおいしさを満喫してみませんか。



■地元産にこだわる品ぞろえ 農産物も加工品も豊富 サラダボウル・こずや

「地元産にこだわって、生産者自らがお客様に対応するのが大きな特長です」と穀藏昭治組合長が話すサラダボウル・こずや。レジの脇には旬の作物を扱うコーナーを設置し、店内には町内各地の農産物や手づくりの加工品がいっぱい。この時期は旬のさくらんぼ、加工品では串もちがよく出ています。隣接する「そば処こずや」には地元産の手打ちそばに多くの根強いファンも多いとのこと。

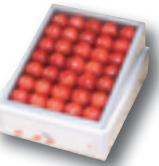
地元の人はもとより町外からのお客さんも訪れます。「東北各県からのお客さんも多いが、地元のお客さんの支えがあってこそ」と話す穀藏組合長。毎月、役員会と全体会を開催し、売り上げやお客様への対応などを話し合います。課題は、育苗期間の6月の品ぞろえと組合員の増員です。



穀藏昭治組合長
わたしは農薬を使わないとうもらこし、炭を生産しています。組合員の衛生管理にも取り組んでいます。



品名 野菜・果物・キノコ・山菜・菓子・漬物・惣菜・工芸品など
営業時間 9:00~18:00
休み 1月1日~3日
問い合わせ 小鳥谷字道地43-1 Tel &Fax34-2040



●地元産の商品がこだわり
●お客様に好評の加工品

いわて子どもの森に響く「食」の協働

四月からレストランにハ

県立児童館いわて子どもの森（吉成信夫館長）は、昨秋か

ら町をはじめとする関係機関などと検討を重ねた結果、「食」といのち」を本年度のテーマに掲げ、地元食材の新メニューを提供しています。

奥中山産の牛豚肉のハム・ソーセージ、乳製品、高原野菜が味わえるジャーマンドッグセットや雑穀を使ったランチメニューなどをそろえ、地産地消を進めます。

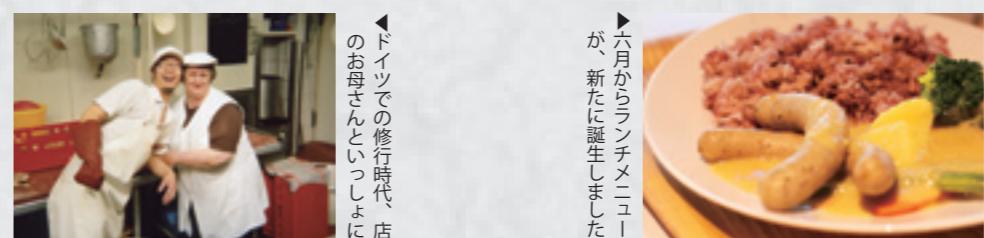
吉成館長は「食といのちの取り組みを進めたい。地元食材で安全、安心、おいしさを届けたい」と話します。

町の奥中山高原温泉が運営するレストラン「バラヘツタ亭もぐもぐ」の新メニューにかかる峰館親子を取りました。

魅力、価値観を見出せる農業へ



ボールスターファーム 食肉加工部門代表
ドイツ・フライシャーマイスター峰館泰之さん



▶六月からランチメニュー
が、新たに誕生しました

山産の牛豚肉を原料に合成保存料、着色料を使わず、塩分を控えめに仕上げた。「工場をお借りした岩手ハムの方、町のご協力で、帰国して、すぐに作らせてもらっていることが幸せ」と感謝の気持ちで取り組む。

「母親が食の匠としてしりつておられる形で食肉を加工する。良い形で連携できているんじゃないでしょうか。今後は地域一体で魅力、価値観をもつと見出せる農業についていきたい」と未来を見据える。

地産の食材メニューにしたら、たくさん聞こえた「ごちそうさま」



食の匠：峰館登美代さん

「食の匠」は岩手の豊かな自然の中で生産される食材を伝承、創造する担い手として県が平成8年に創設した認定制度。食文化を地域農産物の拡大やふるさとの味づくりにつなげています。

レストランで調理にかかる峰館登美代さん。食の匠として食育イベントスタッフや研修会の指導など、県の食を牽引する。については、「子どもの森の吉成館長や奥中山高原温泉の中島所長たちと『地元の活かしたい』と話し合いをしてくるんです。パンも地元のものをとを考え、一野辺製パンに特注した県産米、小麦のご飯パンを使用。腹持ちが良いのが特長です。野菜は固定せず、例えばアスパラからインゲンへ、ブロッコリーからズッキーニへと季節に合わせて変えるながら、たくさんの親子の『ごちそうまでした』の声が聞こえてくるんです。小さいときから自然素材の本物の味を知ってほしいと思っていましたし、良かった」というふうな登美代さんです。

子どもたちに地産の良さ伝える取り組み

近年、食の安全が叫ばれて、消費者の意識は国産品へ移りつつあります。

しかし、一方では地元の野菜はあって当たり前という意識もあり、野菜がどのように作られているのかどうぞ子どもたちにも同じことが言えます。

奥中山営農経済センターでは毎年テーマをもって地

産池消を進め、今年は子どもたちに一戸の農産物の良さを伝えることにしました。農業が基幹産業の町に生まれた子どもたちに地元野菜を知り、元気になれるおいしさを感じてほしいと、野菜はあって当たり前という意識もあります。

将来、地元を離れていく人がいても若い世代に地産の良さが伝われば、きっと未来へつながると考えます。

■奥中山高原野菜出発式での地産地消メニュー試食会

出発式後に出席者は高原野菜を使った料理の試食会を行いました。料理を担当した二戸パークホテル柴田富士夫料理長が、和食、洋食、中国料理計15品を披露。出席者は料理を味わい、広がっていく高原野菜の可能性を感じているようでした。

写真は、料理をおいしそうに味わう奥中山保育所の園児たち。



生産者から消費者へ 顔の見える流通を

農産物の流通面から地産地消を考えると、生産者と販売者は顔が見える形でつながっていますが、さらに消費者までつなげる取り組みが必要です。

具体的には、地元で販売される県産の農産物の中で、奥中山産に特化し、こだわった部分が消費者に見える商品づくりが必要。それが消費者の地元意識の高揚にもつながっています。

大手コンビニエンスストアと提携し、サンドウィッチに奥中⼭レタスの使用を標示するなどの展開も始めていますし、マスコミなどへの情報の発信の仕方も考えていくことが必要です。

奥中山営農経済センターとしては、消費を東北圏内で考える一方で、地元の産直施設などへの技術指導など、農協としてできる部分で協力、連携していくことを考えていました。



▶大手コンビニエンスストアでは奥中山産の新鮮なレタスを用いたサラダなども展開しています

若い世代に 地産の良さが伝われば きっと未来へつながる

昨年、農協の再編により新たに出発した新岩手農協。その取り組みの中で、豊かな資源と人材を活かして地産地消をどのように考え、進めていくのでしょうか。

新岩手農業協同組合
奥中山営農経済センター
米穀園芸課 月花穂課長



奥中山高原農協乳业(株)の挑戦。

Interview

お話を聞きました

一戸は楽しかった。絶対また来ます

サマースクール参加者
中村仁美さん(東京都)
今日は乳搾りをして好きな牛乳がますます好きになりました。お昼ごはんも手づくりでとてもおいしかった。一戸に絶対また来ます。

子どもたちに牛乳を飲んでほしい

乳搾り体験を受け入れた
大吹牧場 大吹明さん
子どもたちに牛乳を飲んでもらえるならと乳搾り体験を行っています。希望にあふれる子どもと接することで楽しかったですね。



大吹牧場で興味深そうに乳搾りを行う「いわて子どもサマースクール」の参加者たち。

パル生活協同組合連合会
が行う「いわて子どもサマースクール」は、関東圏の子どもたちが命を育む食の生まれ故郷を訪ねる「体験」と「発見」の旅です。奥中山高原農協乳业㈱ではこの取り組みを、消費者の現場を訪問し、語り合い、増やし、地域の魅力を発信

する地産地消の取り組みと捉え、受け入れています。七月二十三日、関東圏の小学生二十七人が奥中山高原を訪れ、大吹明さん(奥山西田子)の牧場で乳搾りを体験、奥中山高原農協乳业㈱では、工場見学とチーズ作りに挑戦しました。参加者は、昼食の町農作物の手づくりメニューをおいしそうにほお張りました。

自然の恵み、豊かさとは。地域の良さを知り、伝え、地域ブランドの確立へ

ここに町の地産地消の鍵を握る会社があります。奥中山高原農協乳业㈱(関根成一代表取締役社長)。町は昨年、旧いわて奥中山農協所有の乳製品加工施設を無償で譲り受けました。今年度は、国の経済対策臨時交付金を活用し、新商品の製造ライン整備や同社の販売体制強化に向けた取り組みなどを予定。同社を支援し、酪農家とともに地産地消を推進します。

地域が良くならなければ、わたしたちの成功はありません

代表の決意 生産者の思い

将来に夢が持てる会社に
地域の皆さんと育てていきたい



代表取締役社長
関根成一さん
平成17年から3年間、農業委員会の会長を務めた。平成20年8月から現職、2年目を迎える。

牛乳の特長は。
「酪農家と工場の距離が近く、鮮度は抜群。朝、酪農

五十三戸の酪農家の生乳から牛乳、乳製品を生産し、四十人の地域雇用の場でもある奥中山高原農協乳业㈱。関根成一代表取締役社長にお話を伺いました。

現在の会社の状況は。
「飼料などの高騰により昨年の四月に三円、今年三月には十円乳価が値上がりし、商品の価格に転嫁できず、とても苦慮しましたが、徐々に定着しています。現

うな会社に育てていきたい

と思いません」

「皆さんにメッセージを。

「奥中山高原農協乳业㈱はいる意識があり、酪農業を振興する上で欠かすことのできない乳業工場です。農

家が元気になり、社会貢献できるような経営を行い、地域の皆

さんと一緒に夢が持てるよ

び、青年海外協力隊員として、南米のパラグアイで農業指導を二年間行いました。大学卒業後、家業を継ぐため実家の牧場へ戻りました。久保牧場は遺伝子操作を

農にやりがいを見出し、家業を継ごうと決意しました。北海道の大学で農業を学び、北海道の大学で農業を学び、青年海外協力隊員として、南米のパラグアイで農業指導を二年間行いました。大学卒業後、家業を継ぐため実家の牧場へ戻りました。久保牧場は遺伝子操作を

しない飼料で牛

を飼育するNO

N GMO(※農家。

久保さんは「N

O N G M O の配

合飼料は年々値

上がりし、今が

やつていけるぎ

りぎり。乳量を

落とさず、コストを下げるため、

飼料の中身も

日々、検討して

います。コストがさらにも上

がると生活していくためにこだわりも捨てることを考えなければなりません」と厳しい状況を打ち明けます。

「地域が良くならなければ、わたしたちの成功はあ

ります。コス

トを下げるため、

飼料の中身も

日々、検討して

います。コス

トを下げるため、

地域資源を循環する農業へ

これまで見てきた地産地消へのさまざまな取り組み。町は、どのような形に集約して、推進するのでしょうか。稲葉秀俊産業部長の話から、その方向性を探ります。

◎各方面で活発な地産地消活動。それでは、町としてどのように連携を進めていくのでしょうか。

地産池消に関する具体的な取り組み

地産池消に関する具体的な取り組み

地産池消に関する具体的な取り組み

な町の動きとして今年度は町内八カ所の産直施設のマップを作成しています。さらに秋には産直施設が合同でスタンプラリーなど

のイベントの開催を予定。連携して町内外に情報発信し、交流人口の増加につなげたいと考えています。

町内の産直施設がそれぞれの特色を活かし、良きライバルとして切磋琢磨すること

で全体の魅力がアップすることも期待しています。

野菜を生産する岡本恒造さん（中央）と給食をおいしそうに食べる児童たち。岡本さんのうれしそうな笑顔が印象的です。



「ふるさと給食」が7月17日に行われました。小鳥谷小学校では6年生の児童12人が野菜を生産する岡本恒造さん、さくらんぼを生産する小姓堂京子さん、給食を調理する食育センター職員と一緒に町内産の食材で作った「ふるさと給食」を食べました。児童と生産者、食育センター職員は机を合わせて座り、大きな声で「いただきます」。お互い少し照れましたが、顔を合わせて食をともにし、実り多い時を過ごしました。

いつも、おいしい給食をありがとう。
生産者、調理者と食べる
地域の食材いっぱい「ふるさと給食」。



野菜を生産する岡本恒造さん（中央）と給食をおいしそうに食べる児童たち。岡本さんのうれしそうな笑顔が印象的です。

食べる姿を見て出る張り合い



さくらんぼを生産する
小姓堂京子さん
食べる姿を見て、張り合いで出ました。さくらんぼ畑にいる時も子どもの顔が思い浮かびます。今後も喜ぶ顔を楽しみにがんばります。

生産者、調理者に会い安心感がある



小鳥谷小学校 6年
小瀧美和さん
初めて食材を生産する方、調理する方に会いました。ふるさと給食はとてもおいしかったし、皆さんの顔を見て、安心感がありました。

給食をもりもり食べてうれしい



食育センター
柄木アイ子調理員
給食を残さないでもりもり食べる子どもたちを見て、今日はとてもうれしかったです。これから給食を作る大きな励みになりました。

あ～、おいしかった。

ごちそうさまでした。



■取材、編集を終えて

「当たり前でない豊かさ」。

特集に関する取材を通して、

最も印象に残った言葉です。

身の回りにある野菜、牛

乳、自然：当たり前に感じ

る環境を今一度、わたした

ちの町の財産と考える必

要性を感じました。昭和

六十二年から平成十七年ま

での二十年間で農業就業人

口が約半数まで落ち込んで

いる現実、当たり前にあつ

たものの価値を無くしてか

ら気付くのは遅すぎるこ

とは誰の目にも明らかです。

町の豊かな環境をもう一度見直し、苦しい状況にある産業を前へ進めようとする人たちが、町にたくさんいます。地産池消は、お互いがつながって、その価値を見出し、内外へ広げる基点づくりのように感じます。先月の「食育」、今月の「地産池消」の特集、そのつながりの中で、町の価値を再発見し、発信するきっかけになることを願っています。

世界の動向をつかみ 地域循環型の農業へ

原農協乳業㈱と連携して盛岡市に新たに産直施設を出店したり、消費者に農産物を直送する動きも見られ、地産池消の流れは加速していくと予想しています。

コミニティビジネス支援事業（※1）に今年は三件の申請がありました。事

業を通じ、事業者が農産物の加工度を高めることにも寄与したいと思います。

さらにふるさと雇用再生

特別基金事業を利用して、

首都圏に町特産品を扱うア

ンテナショップの開設も予

定し、こうした動きが町を

売り込む起爆剤になるよう

にしたいと考えています。

野菜を生産する岡本恒造さん（中央）と給食をおいしそうに食べる児童たち。岡本さんのうれしそうな笑顔が印象的です。

地球温暖化、石油をはじめとする資源エネルギーの枯渇化で生じる肥料、飼料、農業用資材の高騰、40%を

方向をつかみ、地産池消に

取り組む必要があります。

それは、家畜排泄物の堆

肥化などの地域循環型農業

の推進であり、食料自給率

の向上を見据えた農業の展

開。そのためには、産業と

して成り立ち、継続的に安

定した経営が可能な農業を

目指す取り組みが必要です。

町には大規模化する生産

者、小規模でも加工度を高

めようと取り組む生産者も

あります。

町の産業に応援を

あり、多様な経営体の中

で第6次産業化（※2）へ向

けた動きを加速することが

必要だと考えます。それが

消費者が見える産直の内容

の充実にもつながります。



一戸町役場 産業部 稲葉秀俊部長
わたしたち産業部の使命は、できない理由を考えるより、できることから一つ一つ一緒になって動き出ことだと考えます。
また、失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジする人材の発掘、育成、地域の魅力の再発見にも努めます。職員一同、地域の皆さんとともに地域の発展のために継続して進化できるよう取り組んでいきたいと思います。

※1：地域の人材や資源の活用による地域に密着した新たな事業創出を図るための町補助金制度
※2：農畜産物の生産だけでなく、食品加工、販売、流通にも総合的にかかる新しい農業形態

走る幸せを力に

東北マスターズ陸上競技選手権大会、

四〇〇メートルで十二年ぶり日本新記録を樹立

県では一〇〇メートル、一〇〇メートル、四〇〇メートル三冠

県では最優秀選手に選出、
東北は一〇〇歳でも優勝

マスターズ陸上とは、三十歳以上の日本マスターズ陸上競技連合の登録者が出場できる大会で、三十歳から百歳を超える選手が登録している。

われた東北マスターズ陸上競技選手権大会では、一〇〇歳と四〇〇歳に出場。一〇〇メートルは一秒五一で優勝、四〇〇メートルは五〇秒八二のタイムで十二年ぶりに日本新記録を更新して栄冠を手にした。

**目標タイムに届かずも
祝福にあふれるうれしさ**

二十一日に行われた岩手県マスターズ陸上競技選手権大会に出場した西館敦さんは、二〇〇六、二〇〇八、四〇〇メートル優勝、いずれも県と東北の大会記録を更新する圧倒的な強さで、同大会での最優秀選手にも選出された。

西館さんは大会を振り返り「実は学生の人と競い合うイメージで走り、自分の目標タイムに届かず、競技後『チクショー』と叫んだんです。けれどみんなが『日本新記録』と喜んでくれて、本当にうれしかったです。歴史に名前を残せたことも年代別に陸上に

西館さんの強さは、年代を経ても記録を伸ばし続けていること。一戸高校陸上部時代は、県大会に出場するレベル。高校を卒業し、県内に就職。近くの競技場で陸上を楽しむ西館さんに転機が訪れた。

それは、仕事として子どもたちに運動を教えるインストラクターになつたこと。体の動かし方、使い方を基礎から学ぶ日々が始まつた。講習会

五年前にふるさとへ戻り、いちのへ文化・スポーツNPOの立ち上げに携わり、事務局員に就任。子どもから年配の方まで地域の人たちに運動の楽しさ、大切さを伝えるかたわらで陸上にも取り組む。

「立派な競技場があり、職場や家族の応援もあって、打

取り組む人を受け入れるマス

テニスがあるから。年を経ても向上心を持つて挑める場があることは幸せです」と話す。

理論の習得だけでなく、インストラクターとして自身が実践し、陸上にも取り入れたことで記録も飛躍的に伸びた。

理論やコツがあります。方法でいろいろなトレーニングを行います」と西館さん。

「自分にとって、陸上は単に趣味だけではないんです。子どもたちに成果を示すこと、運動を続ける大切さや楽しさを伝えることにつながる。今後は、『走る』という基本動作を納得するまで極め、得たものを一人でも多くの人に伝えていきたいです」と流れる汗をぬぐう。



西館 敦さん

にしだて あつし
いちのへ文化・スポーツNPO勤務。30歳。身長174cm、体重61kg。好きな言葉はマラソンの高橋尚子選手の「何も咲かない日は下に太い根を伸ばそう」。『成績が表れなくても、無駄な努力は無いと考え、下に太い根を張るつもりで日々取り組んでいます』と笑顔で話す。
自己ベストは100mは11秒27、400mは50秒11。
N i s h i d a t e — A t s u s h i

「応援があつて、打ち込むものがある。わたしは本当に幸せです」





粘りのバレーでW入賞の快挙

一戸クラブ 男子：県民体育大会で2年ぶり7回目の優勝
女子：つかんだ歓喜の準優勝、さらなる飛躍へ

interview

◎大会優秀選手に聞きました

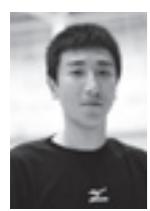
学生の盛り上がりも期待

佐々木 真選手（ライト）

わたしもプレーの感触は良かったですが、チーム状態もとても良く、

代表で優秀選手をいたいたいものと考えています。

小中高などの学生のバレーの盛り上がりも期待します。一緒にがんばりましょう。



みんなのがんばりのおかげ

姉帯美佐子選手（センター）

今回の優秀選手の選出はチームの皆さんのおかげです。みんなのがんばっていたので、わたしもがんばることができました。チームを代

表していただくことができ、光榮です。次の試合もがんばります。



男女メンバーを募集。

一緒にバレーをしませんか。男女とも毎週火・金曜日の夜に一戸中学校体育館で練習しています。お気軽にいらしてください。

詳しくは、役場税務町民課の西館（☎ 33-2111 内線 123）までご連絡ください。

「力」 バー、しつかり。一戸中学校体育館で毎週火、金曜日の夜に行われる一戸クラブの練習。手たちは、疲れも見せずにコートに立ち、男女が協力して、真剣な表情で練習に励む。その一戸クラブが男女ともに第六十一回岩手県民体育大会バレーボール競技（七月四・五日、花巻市民体育館）で快挙を成し遂げた。

男子は二年ぶり七回目の優勝、女子は決勝で惜しくも滝沢村に敗れたが、準優勝を飾った。男子は一回戦で昨年優勝の滝沢村と対戦。要所でライト佐々木真選手がブロック、スパイクに活躍し、ストレートで破り、勢いに乗った。準決勝でも住田町をストレートで

撃破。決勝では藤沢町を相手に鍛えた上げたブロック8本を決め、すべてストレート勝ちで頂点へと駆け上がった。今回の優勝に女鹿口孝プレーイヤー兼監督は、「連覇を狙い敗れた昨年から、さらに練習を積みました。試合では力を付けた若い選手が、要所で普段どおりの思い切ったプレーができ、今回の優勝はひとくわうれしく感じます。この優勝で若い選手がさらに成長することを期待しています」と

頼れる次世代の成長を喜ぶ。一戸クラブ男子は、大型選手がそろってはいないが、粘り強いレシーブで相手の弱点を突くスタイルが信条。若さで試合の勢いに乗れることも今回の大好きな収穫だ。

今後の課題は、サーブのバリエーションを増やすこと。

「元気で負けず、声を出して体を動かし、守備でも打撃でも一球に集中する自分たちの野球ができたと思います」と湊英成キャプテンが振り返る全国スポーツ少年団は、六月二十七、二十八日、楽天イーグルス岩泉球場などで行われた四試合を勝ち抜いた。準々決勝は大船渡野球少年団に最終回まで4点差をつけられる劣勢を追いつき、延長戦特別ルールで3点先行され4点を挙げ11対10でサヨナラ勝ち、執念で準決勝へ進出。準決勝も打ち勝ち、決勝の舞台へ。相手は初優勝を目指し、地元の大聲援を受ける田野畠二ユーワエーブと対戦。「勝ちたい気持ちが相手が一枚上だった」と小森正三監督が唇をかむ決勝は1対5。惜しくも準優勝に終わつた。

「去年のレギュラーは一人もない。プレッシャーの中、三年連続決勝進出は本当によくやつた」と小森監督は練習する子どもたちを見つめる。

第29回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会岩手県予選 いわての牛乳カップで3年連続決勝進出した

**一戸野球
スポーツ少年団**

貫いた一球集中



第44回全日本少年剣道錬成大会に出場した

**小鳥谷五月館
剣道スポーツ少年団**

合言葉は、
「がんばればできる」

「面」 小手、胴！」大きな声と竹刀の音が響く小鳥谷公民館。ここで稽古を重ねる小鳥谷五月館剣道部の瀧澤凜君（小鳥谷小六年）は「大事なところで必ず一本取る」と抱負を語つた。七月二十八日に武道の聖地「日本武道館」で開催された第四十四回全日本少年剣道錬成大会には、全国の強豪五三三チームが集結。初戦は厳心館（佐賀県）、二回戦は奈良二名会（奈良県）を接戦で破る快進撃を続け、三回戦で丸瀬布剣道スポーツ少年団（北海道）に1対2で惜敗したが、過去七回の出場で二番目の好成績を収めた。仁昌寺博監督は「全員が『がんばればできる』と冬場もしっかりと打ち込んだことが実を結んだ。ご支援いただいた皆さんに感謝したい」と全国に挑んだ子供たちを讃えた。

大会を前に、キャプテンで副将の瀧澤凜君（小鳥谷小六年）は「大事なところで必ず一本取る」と抱負を語つた。七月二十八日に武道の聖地「日本武道館」で開催された第四十四回全日本少年剣道錬成大会には、全国の強豪五三三チームが集結。初戦は厳心館（佐賀県）、二回戦は奈良二名会（奈良県）を接戦で破る快進撃を続け、三回戦で丸瀬布剣道スポーツ少年団（北海道）に1対2で惜敗したが、過去七回の出場で二番目の好成績を収めた。仁昌寺博監督は「全員が『がんばればできる』と冬場もしっかりと打ち込んだことが実を結んだ。ご支援いただいた皆さんに感謝したい」と全国に挑んだ子供たちを讃えた。

大会を前に、キャプテンで副将の瀧澤凜君（小鳥谷小六年）は「大事なところで必ず一本取る」と抱負を語つた。七月二十八日に武道の聖地「日本武道館」で開催された第四十四回全日本少年剣道錬成大会には、全国の強豪五三三チームが集結。初戦



どんぐり村にアメリカから研修生 理想的な布仕事がここに

アメリカ合衆国ニューメキシコ州に住むリップス・ミミさんが鳥海地区どんぐり村（月館赤屋敷、赤屋敷信一村長）の赤屋敷タマさんから布仕事を教わろうと研修に訪れました。ミミさんは長崎出身で結婚を機に、アメリカに移住。

アメリカで織物の仕事を始めるために勉強がしたいと思ったミミさん。理想的な布仕事を行うタマさんが掲載された雑誌を頼りに6月半ばにどんぐり村にやってきました。「材料の調達の仕方から編み方まで毎日がとてもためになります。帰国してからもがんばります」とミミさん。自炊しながら泊り込み、7月いっぱいまで研修を続けました。

「断っても『どうしても』って来たんだよ」と笑うタマさんとミミさん

外国語指導助手 2人が任期を終え、帰國 サンキュー、いちのへのミナサン

この夏まで町内の幼稚園、小中学校で外国語の指導を行ったALT（外国語指導助手）が任期を終えました。

アレクサンダーさん（写真右）は「わたしがこの町に来た日、歩いていると地域の人が『新しい先生』と迎えてくれ、うれしかった」と思い出を話しました。ダニエルさん（写真中）は「生徒はベリー元気、親切してくれてありがとう」と感謝の気持ちでいっぱい。ダニエルさんの奥さん、タイラーさん（写真左）は、ボランティアで英会話教室の先生を務めました。「教室はすごく楽しかった。生徒が一生懸命だったから」と一戸での充実した生活を振り返りました。



ALTを務めた皆さんはそれぞれの目標に向かい、一戸を後にします。



御所野遺跡で発掘調査が始まりました 世界遺産へ向けて、また一步

国指定史跡の御所野遺跡では7月15日から発掘調査を開始しました。今回の調査は遺跡中央部のストーンサークルの南側に位置し、一段高く土が盛られている「盛土遺構」と呼ばれる場所を行います。ここは大量の土器や石器のほかにも燃やされた動物の骨や炉の跡が多く出土し、縄文人がまつりを行ったのではないかと考えられている場所です。

菅野紀子調査員は「調査の目的は『盛土遺構』の形成過程を調査することです。10月ごろまで、火～土曜日の天気の良い日は調査を行います。今回の発掘は貴重な機会。見学は自由なので、お気軽においでください」と話しています。

奥に見える屋根は、ストーンサークルに復元されている建物のものです。

栗 第37回町民登山を参加者54人が満喫 駒山の頂に笑顔も晴れやか

雨が心配された7月12日、第37回町民登山が行われました。早朝5時に集合した参加者63人は元気に栗駒山を目指しました。一関市の登山口、須川温泉に到着。参加者はさわやかな高原の風を感じながら、頂上を目指して元気なスタートしました。

名残ヶ原（お花畠）のワタスゲ、イワカガミなどの高山植物が咲き乱れる広大な湿原を通り、スカイブルーが色鮮やかな昭和湖を経て、360度見渡せる山頂へ全員到着。参加者は心地よい汗をふきながら、記念撮影を行いました。参加者の熱気で雨も寄せ付けない大満足の町民登山でした。



満足げな表情で山頂での記念撮影を行う参加者たち。

緑 御所野縄文公園で「めおと写真」撮影会 に映える幸せきらり

社会福祉協議会（川又博会長）主催の長寿祝い品贈呈事業「めおと写真」の撮影会が7月28日に御所野縄文公園で行われました。この事業は、町内の78歳以上の夫婦の記念撮影を行い、写真を祝い品として贈呈するもの。昭和52年から継続しており、皆さんから大変喜ばれています。

これまでスタジオ撮影を行っていましたが、一戸写真の高村正彦さんと社会福祉協議会が話し合い、緑豊かで世界遺産を目指す御所野遺跡が記念になると撮影場所に決めました。

28、29日で12組の撮影を行い、スーツや着物に身を包んだ夫婦が晴れやかで幸せそうな表情で撮影に臨みました。



「これからも仲良く長生きしたい」と話す泉久保儀一郎・ハツヨさん夫妻。

忍 町保護連が楽しい人形劇を開催 者だ、手裏剣シュシュ

町保育施設保護者会連合会（合川渡会長）主催の人形劇サークル「じゃんけんぽん」鑑劇会が、7月22日にコミュニティセンターで行われ、保育園児ら約280人が参加しました。「じゃんけんぽん」（湯川友子代表）は、軽米町で活動する4人組の人形劇サークル。この日は影絵の「ハールメンの笛吹き」や「ねこのお医者さん」などを披露し、園児たちは大喜びで鑑劇しました。

小繫児童館の片野颯太くん（はと組）は「いろいろ見られておもしろかった。最後の忍者ごっこは、本当に忍者になれたように楽しかった」と息を弾ませながら話しました。



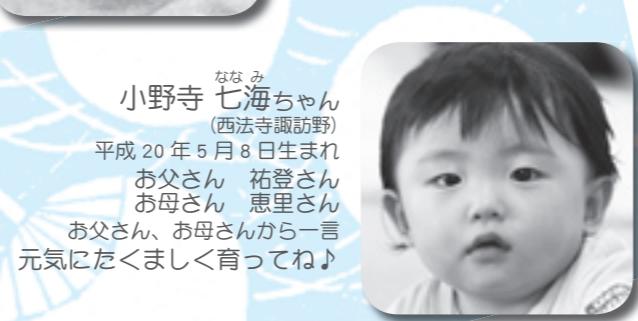
人形劇の最後には、参加者全員で忍者ごっこを楽しみました。



一等星

♪一歳になったよ♪

釜石咲希ちゃん
(奥中山西田子)
平成20年4月19日生まれ
お父さん 暁さん
お母さん 理枝さん
お父さん、お母さんから一言
元気に健康で育ってね♥



人とのふれあいの中で、毎日笑うことができてうれしい。

田頭里恵さん でんじい・りえ
奥中山産直ひろば新鮮組
23歳

四月から奥中山産直広場「新鮮組」の販売員として店に立つ田頭里恵さん。新鮮組

「自由にやつていいよ」と
新鮮組の櫻館正子代表に勧
められたものの、接客には不
安があつたという里恵さん。
しかし、おじいちゃん、お

つもりでこの仕事に取り組もうと考えた。
店で接客を行なうほか、店で扱う手芸品を作ったり、農作業を手伝うこともある。

休みの日にはドライブやカラオケ、読書など、気分に応じ、自然体で過ごす。

仕事の楽しさを伺うと「人

とふれあい、毎日笑うこと、が
できてうれしい。食材の調理
法や人との付き合い方など、
お客様さんや組合員が教えて
くれて、日々が勉強になります
」と笑顔で話す里恵さん。

「今後は新鮮組を盛り上
げ、地域の良さを伝えること
ができるようがんばります」
と頼もしい看板娘だ。

広報クイズ

～一戸町共通商品券～
(1,000円分)
3人にプレゼント！

先月号の当選者は、田村望さん（一戸向町）、不來方安子さん（中山大塚）、高沢雪子さん（平糠田岡）です。おめでとうございます。

◎広報クイズです。
問題 今月の地産地消特集のタイトルは、ぜひ何でしようか?
「〇ちのべ、〇いもの、〇ただきます」
ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢(学校名・学年)、電話番号を記入し、
〒028-15311
一戸町高善寺字大川鉢
(八月二十八日締切り)
※余白に町政へ提言など
自由にお書きください

♪一歳になったよ♪

—— 9月に1歳を迎える赤ちゃんの写真を募集!! ご希望の方は8月28日までに広報までご連絡願います

がんばっています、中学校クラブ紹介

鳥海中学校女子バスケ部

■部員 女子6人 ■顧問 長尾満教諭 千葉和之教諭



— ◎中学校総合体育大会をもって残念ながら廃部。しかし、最後まで全力でコートを駆け回りました

- ✿山本可南子さん（No.7）…バスケで体力、持久力がつき、あきらめない気持ちで戦い抜きました。高校でもチームワークを活かしながらります。
- ✿東山優佳さん（No.6）…バスケで粘り強くやりぬく力がつき、仲間の大切さを学びました。きずなを生徒会活動、高校生活にも活かします。
- ✿北香奈美さん（No.4）…先生方やチームのみんなを信じてプレーするこ

との大きさをバスケで学びました。受験勉強もがんばります。

◆東山慧美さん（No.5）…たくさんの方に支えられ、感謝の気持ちを持つ大きさを感じました。身に付けた精神力で勉強も運動もがんばります。

◆中村怜恵さん（No.8）…バスケで技術面、精神面で成長でき、団結力が深まりました。勉強もがんばって、高校でもバスケを続けたいです。

町の文芸

六月短歌・俳句会
一戸町文化協会俳句部会
会場 小鳥谷地区公民館

長病みの老父に新居建てやるも
七日生きしと喪主の挨拶
満面の輝やく笑顔シャンソンを
舞台に響かせ友誇らかに
白光るヒトツバタゴの花仰ぐ
子の学びたる学府の庭に
ねんごろに骨粗鬆症新薬を
説き賜はりぬ医師の手温し
斜畑など巡れば偲ぶあのころの
南瓜の蔓もやせて伸びにき
霧深き朝の山路は外灯の
点さるるまゝ老鳶鳴けり
黙々と只黙々と歩くとき
知らぬ自分に出会う嬉しさ
アカシヤの花の天麩羅夕膳に
香り楽しみ酒酌みかわす
涼風の吹き渡り来て天守閣
松本城下緑は萌ゆる

佐藤 大暁
馬林 京子
東山 智子
仁昌寺 洋子
女鹿 昌子
岩渕 良子
駒木 秋影子
東山 智子
高木 満里
柴田 のぞみ
中館 サヨ子
中村 木実
根反 ちよ
与之

※中央の模様は、柴田外男広報編集委員（中山大塚）がデザインしました

運動公園だより

Sports

夏の疲れがピークになる時期ですね…カラダやココロ「だるく」ありませんか？

そんな方にオススメ軽運動「ヨーガ教室」のお知らせ

★健康や美容への関心の高い方に効果的な健康法・美容法として注目を集めています★

「ヨーガってやったことないから」「カラダ硬いから」「小さい子がいるから」そう思っている方も安心して参加していただける教室です。

まずは、ご自分のできる範囲で無理なくヨーガの空気に触れてみましょう。

きっと、今よりココロとカラダの「だるさ」が癒やされます。

■期日 8月21日(金)、9月18日(金)

■時間 19:00 ~ 20:30

■参加料 200円（いちのへサンビレッヂクラブ会員は無料）

■会場 一戸町コミュニティセンター（多目的ホール）

■講師 鈴木マリ子先生

■持ち物 床に敷くもの（バスタオルやストレッチマットなど）

■その他 内履きは必要ありません。教室中は素足で行います。

託児も承りますが、初めての方は事前にご相談願います。

■問合せ いちのへサンビレッヂクラブ事務局（運動公園内）



▲前回のヨーガ教室の様子です。

31-1400 休館日 8月24・31日 開館時間 火～金 10:00～19:00 土日祝 9:00～18:00

図書館だより

Books

夏休み特別開館日 3・10・17日 開館時間 10:00～17:00
お盆中の開館時間 13～16日 開館時間 9:00～17:00

『パラドックス実践 雄弁学園の教師たち』
門井 慶喜／著、講談社／刊

6歳から演説、議論、陳述研究の訓練に励み、大人も太刀打ちできないほどの技術を持つ高校生たち。弁論術学習に特化した超エリート校「雄弁学園」。

議論混乱をきっかけに担任を休職に追いやられ、新担任には難題を投げかけています。初等部、中等部、高等部、大学を舞台にした4つの学園小説です。

新刊紹介

『農家が教える 加工・保存・貯蔵の知恵』
農文協／編、農山漁村文化協会／刊

「野菜、くだものを乾燥して保存」「寒ざらし、冬につくる保存食」「冷凍、冷蔵保存のこつ」「保存、貯蔵の原理」などの各章から農家の知恵が満載の本です。

日本の一地域だけではなく、古今東西の「人類の保存の知恵」が集まっています。

時には師に、時には友に。

今日は読書びより

『直売所だより』

山下 惣一／著、創森社／刊、2008年

直売所が現代より少なかった1990年に直売所「みなん里」を開設。「生産者も消費者もともに地域の生活者として食べ、暮らすことによって地域を支援していく。それが直売所の目的だと私は信じて」歩んできた道のりや苦悩などを描いた本。

町の情報ステーション「死生観」

宗教や地域などの違いによって、ご先祖様のご供養も変わります。今月は宗教やお墓づくりなど、この時期、関心が持たれる本を集めました。

こどもの本の特集は「あなたの知らない世界」

神話の世界や妖怪のお話は好きですか？世界の神話、妖怪が主人公の本を集めて、みなさんのお越しをお待ちしています。

8月のイベント

- ・とことこおはなし会 8月18日(火) 11:00～
対象：3～5歳児
- ・夏休み映画会 8月22日(土) 14:00～
対象：小学生
- ・図書館映画会 8月22日(土) 11:00～
対象：幼児から小学生

(平成20年度読書推進標語奨励賞作品)

Health

地域包括支援センターだより

～こんにちは、一戸町地域包括支援センターです～

孫による認知症講座 「私の友蔵おじいちゃん」

◎認知症の方を支えるため皆さんの理解を

認知症の方に対する理解を深めるため、7月17日（金）小鳥谷小学校で孫による認知症講座を開催しました。

今回は4年生の児童を対象にして、劇『私の友蔵おじいちゃん』を包括支援センターのスタッフ6人で演じました。参加した児童からは、「お年寄りの人にもっとやさしく接してあげたいなあと思いました」「認知症が脳の病気だと聞いてびっくりした」などの感想がありました。

認知症の方の数は全国で170万人いるとと言われており、20年後には約2倍に増えると言われています。

これは一戸町も例外ではありません。認知症の方を支えていくためには、皆さんの理解を深めていただくことも大切です。

包括支援センターでは、地域でのさまざまな教室で、



右が友蔵おじいちゃんです

このような劇などで、認知症に対する理解を深めてていきたいと思います。興味のある方は、ぜひ包括支援センターまでご連絡ください。

8月の家族介護者交流会は、8月20日（木）に開催します。希望の方は下記までご連絡ください。当日の参加でも結構です。たくさんの方の参加をお待ちしています。

■申込み先 地域包括支援センター

32-3700 内線 603・612・616

32-3700 保健係・福祉係・児童係

Health

総合保健福祉センターだより

がんを予防しましょう！

がんは近年増加の一途をたどり、現在、実に日本人の約3人に1人が、がんで亡くなっている状況です。一戸町では平成20年には、がんが死因の約3割を占めています。「健康いちのへ21プラン」では、全がん死亡率の減少を目指し、各種がん検診の受診者数の増加を目標にしています。がん予防と言っても、内容はさまざまです。ポイントを押さえ、自分ができることからがん予防に取り組みましょう。

・がん予防はまず食事から

- ①がんを撃退する抗酸化食品（ビタミンA・C・Eなど）が多く含まれる、緑黄色野菜・果物・きのこ類・お茶などを取るように意識し、バランスよく取るましょう。
- ②体内を掃除してくれる食物繊維を多く取る。
- ③食塩の取り過ぎに注意。（酢やしょうが、スパイスなどをうまく活用しましょう）

・適度な運動で免疫力アップ

適度な運動は心身を健康に保ち、体の免疫力を高めます。気軽にできるウォーキングがお勧めです。

・がんを寄せつけない生活習慣を身につけよう

- ①ストレスを解消する。
- ②たくさん笑う。（笑いが、がん細胞を攻撃し、免疫系の働きを高める細胞が活性化します）
- ③禁煙する。
- ④アルコールはほどほどに。（週に2日はお酒を飲まない日をつくりましょう）

・検診で早期発見、早期治療

がんは不治の病ではなく、「治る病気」になってきました。そのためには、早期発見が不可欠です。年に1度は必ずがん検診を受けましょう。また、精密検査が必要な方は、すみやかに医療機関を受診しましょう。

■保健カレンダー

- ・結核・肺がん・特定検診・大腸検診
9:00～11:00 13:30～15:00
9月7日(月) 保セン
9月14日(月) 保セン
9月18日(金) 小鳥谷地区公民館
9月25日(金) 奥中山農業団地センター
- ・乳児・1歳児健診
9月1日(火) 13:00～ 保セン
・2歳6ヶ月児健診
9月3日(木) 13:00～ 保セン
・3歳児お誕生日歯科相談
9月15日(火) 9:15～ 保セン
・1歳6ヶ月児健診
9月8日(火) 13:00～ 保セン
・5歳児健診
8月21日(金) 9:30～ 保セン
・少児救急講習会
8月22日(土) 14:00～ 保セン
・精神保健デイケア事業
9月10日(木) 9:00～ 保セン
8月17日(月) 13:00～ 保セン
※事前に申し込みをお願いします
- ・こころの悩み事相談：必要により専門医が相談に応じますのでご相談ください。
・助産師が妊娠婦・新生児などの家庭訪問を行っています。
詳しくは保健係（32-3700）まで



**地域で行う介護予防活動
資金の一部助成について**

地域で介護予防に取り組む町内会などを応援するため、二戸地区広域事務組合では二戸地域保健福祉活動支援事業として活動資金の一部を助成します。

また資金助成以外にも、活動スタッフや講師の調整などの支援も行いますのでご相談ください。

■対象者

介護予防に取り組む町内会、自治会など(他に助成金を受けて実施している場合を除く)

■対象事業

介護予防のための健康、生きがいづくり活動、講座や座談会の開催など

■補助額

補助対象経費の10分の8以内。
上限3万円

■受付期間 8月20日～9月20日

[問]二戸地区広域行政事務組合

介護保険推進室 ☎23-7772

町健康福祉課 ☎32-3700

町社会福祉協議会 ☎33-3385

小規模新規就農者への支援について

新規就農者の経営安定を図るため、町では一戸町新規就農者支援対策事業として、農業生産のための資材など経費の助成を行ってきましたが、要件を緩和し、小規模新規就農者も対象としました。新規就農を検討している方はご相談ください。

■支援内容

機械や資材の購入費など農業生産のための経費の助成(支援期間最大2年間、年間最大10万円)、農業技術に関する指導、その他

■小規模新規就農者とは

一戸町内に在住し、新規に就農する方で、小規模な農業経営に取り組もうとするおおむね

65歳以下の方

■経営規模

農協または町内産直に年間50万円以上の販売を目指す規模

■小規模農家の認定

希望者の申請に基づいて、町が審査のうえ、認定し、支援を行います。

■産業課

農業振興係
☎33-2111
内線255



①場所 高善寺字大川鉢
元県立病院の官舎
入所は2名の共同生活ができる方

②入居費用・部屋利用料
0円から12,500円/月
(本人の収入により決定します)

③食事代
自炊していただきます。
④光熱水費 実費負担

(1)～(3)のいずれも場合も、入所の可否については、一戸町地域包括ケア会議で検討のうえ、10月下旬までに決定し、通知します。

■入所期間

平成21年12月から平成22年11月まで(あつたかホームは3月まで)

■申込期限 平成21年9月7日(月)

[問] 健康福祉課 福祉係 ☎32-3700

児童扶養手当・特別児童扶養手当の現況届などについて

高齢者冬期居住施設の入居者募集

冬期間中の入所を希望される方を募集します。60歳以上ひとり暮らしや高齢者世帯の方で、自宅での生活に不安はあるが、日常生活が自立している方が対象です。

(1) 高齢者生活福祉センター

①場所 一戸字砂森
結愛サービス公社2階
②入居費用 0円から50,000円/月
(本人の収入により決定します)
③食事代 基本的に自炊していただきます。ただし、公社の給食を利用した場合1,380円(3食)
④光熱水費 4,300円/月
⑤暖房費 5,000円/月
(冬期間11月から4月まで)

(2) あつたかホーム

①場所 岩館字沢田
一戸中学校前シルバー人材センター裏
②入居費用

実費負担となるので、入居人数により増減があります。食材費、光熱水費、管理費など込みで62,000円から82,000円程度となる予定です。

③管理体制、食事

24時間管理人はいますが、介助はできません。夜間は宿直態勢となり定時巡回のみ行います。

食事は入居者が協力して作り、管理人がお手伝いします。

(3) 保健福祉支援ハウス

☎32-3700 内線604

一戸交番だより

防災意識の高揚について

岩手県内では、昨年6月と7月に2つの大きな地震が発生し、震源地の周辺では甚大な被害に見舞われました。また、近い将来高い確率で宮城県沖地震が発生すると言われ、私たちが住む県北地域でも被害の発生が心配されます。

さらに、毎年のように台風による風水害や、近年ではゲリラ豪雨といわれる集中豪雨により、多くの住民や家屋などが犠牲となっています。

8月30日～9月5日は防災週間です。災害が発生したら、あなたはどうしますか? 災害に備えて、日ごろから防災に対する意識と準備が大切です。

○地震が発生したら…

家中では、まず火の始末。元栓も閉めましょう。また、落下物や家具の転倒、ガラスの破片にも注意しましょう。慌てて外へ飛び出さないことも大切です。

自動車を運転していたら、まず道路左側に車を停車させ、ラジオなどで地震情報を得ましょう。

○台風や集中豪雨が接近したら…

強風下での外出は大変危険です。どうしても外出しなければならない場合は細心の注意をしましょう。

非常持出品の用意を日ごろから心掛けることも大切です。

また、テレビやラジオなどで気象情報を確認しましょう。周辺河川などの増水に留意し、場合によっては家財道具を安全なところへ移動させ、いつでも避難できる準備をしましょう。

○平成21年の交通事故発生状況【6月末現在】

	件数	前年数	前年比
人身事故	9件	15件	▲6件
死者	0人	0人	—
傷者	12人	17人	▲5人
物損事故	77件	77件	5件
飲酒運転検挙	0件	1件	▲1件

* 6月中の飲酒運転検挙者はいません。

**古い街並みを
生かす町**

最近、機会があつて古い伝統的な街並みや建物をたくさん見ることができた。

まずは幕府の直轄地で代官所があつた所である。その代官所の建物が良く保存されていた。戦

災もなかつたし、火災からも免れてきたらしい。近くには、明治になってからの役場の建物もちゃんと残っていた。

古いものを大事にし、きちんと残して置く気風が受け継がれている地域などの

気持ちを強くした。

ハイライトは、町人町の復

元保存であった。早くからそ

の価値に気付き、住民自らの

発案で保存会を作り、その保

存や修復に努めてきたという。

もちろん、行政として高山

市もその動きに全面協力し、国・県の助

力を得て、高率の補助金の制度を利用し

ている。

しかし、あくまでも主人公はその通り

の住民なのであって、先祖から伝承して

来たものを絶やしてたまるかとの気迫に

あふれているのである。先祖からいただ

いたその建物は「売らない、貸さない、

壊さない」のスローガンで皆が守ってい

るのである。結局これが今、高山市を支

える大きな柱となっている。

この伝統的な町並みに加えて、伝統的

な祭りを年二回行うし、郷土食なども丁

**町勢スケッチ
一戸町長稲葉**

まだ手続きをされていない方は、児童扶養手当(現況届)については8月31日(月)、特別児童扶養手当(所得状況届)については9月10日(木)までに、町総合保健福祉センターで手続きを行なってください。

しかし、あくまでも主人公はその通りの住民なのであって、先祖から伝承してきたものを絶やしてたまるかとの気迫にあふれているのである。先祖からいただいたその建物は「売らない、貸さない、壊さない」のスローガンで皆が守っているのである。結局これが今、高山市を支える大きな柱となっている。

この伝統的な町並みに加えて、伝統的な祭りを年二回行うし、郷土食なども丁寧に守られている。この伝統的な町並みに加えて、伝統的な祭りを年二回行うし、郷土食なども丁寧に守られている。この伝統的な町並みに加えて、伝統的な祭りを年二回行うし、郷土食なども丁寧に守られている。

それが壊されず現代建築などらずに集落として残ったのは、雪深い里の暮らし方を長い時間かけて生み出してきた御先祖を敬う気持ちと茅を葺き替える作業を「結(ゆい)」の形で残して助け合ってきた結果であろう。それが世界文化遺産につながっている。

金沢市では、前田家の庭園である兼六園と家老宅の小庭園と花街の町並みを見た。いずれも観光客で賑わっていた。一方、金沢市にも高山市にもシャツタード商店街はあるという。何かを暗示しているのは間違いないと感じた。

寧に残している。結果四五〇万人を超える観光客が毎年来るし、その半数近くが宿泊するという。また、ミシュランの三ツ星の観光地として高山市が選ばれた結果、外国人がどんどん増えているらしい。実際、私が訪れた日は平日であったが、あちこちに外国人のグループが目に付くほどであった。市の観光協会は誘客のキャンペーンはしないとのことであった。飽きされることなく、リピートしてもらえる観光を目指すとの話であった。

お隣の白川村は世界文化遺産となつた。中心部から外れた山の奥の方にくりしたのは、その集落が村の中心部の国道沿いにあったことであった。



まちの お知らせ ひろば2

[問] = 問合せ、申込み先

8月

5～23日 コミセンロビー展
文化協会写真部会作品展
9:00～17:00

15日(土) 成人式典
コミュニティセンター
受付開始 10:30～

17日(月) 中里まつり
中里地区
10:00～18:00

27日(木)～ コミセンロビー展
大畑太右エ門・稻葉絢子
祖父と孫の写真展

27日(木) 一戸まつり前夜祭
旧一戸病院跡地
19:00～21:00

9月

17日(木) 敬老会
市民文化センター
11:00～14:00

26・27日 小鳥谷まつり
小鳥谷地区 (26日は夜間運行あり)
12:30～15:00

人の動き(7月1日現在)
人口 14,868人 (-20人)
男 7,168人 (-7人)
女 7,700人 (-13人)
世帯数 5,813世帯 (-9世帯)
()は前月比
転入 23人 (203人)
転出 21人 (315人)
出生 5人 (43人)
死亡 27人 (151人)
()は平成21年1月からの累計

★保育施設開放★

鳥海保育所 ☎32-2220
小鳥谷保育所 ☎34-2524
奥中山保育所 ☎35-2319
は8月18日(火)9:30～12:00
一戸子供の家保育園 ☎33-2859
◎「子育てサークルのびのび」は、
平日の月・水・金 9:30～14:30
※場所は、旧総合保健福祉センター

i ショップホームページ <http://waza.town.ichinohe.iwate.jp/>

※携帯電話で左のバーコードを読み取るか、上記のURLからご覧ください

お知らせ / Infomation

「小児救急講演会」のお知らせ

小児を元気に健やかに育てる目的で講演会を開催します。
町民の方どなたでも参加が可能です。
多数の方の参加をお待ちしています。

■期日 8月22日(土)

■時間 14:00～16:00
(受付 13:30～)

■場所 一戸町総合保健福祉センター

■講演内容 「小児の救急について」

講師 県立一戸病院
小児科科長 福盛田 修氏

参加をご希望される方は、8月18日までに健康福祉課までお申し込みください。

[問] 健康福祉課 保健係 ☎32-3700

平成21年度自衛官募集案内

種目	資格	受付期間	試験日	参考
防衛医科大学校	高卒(見込含) 21歳未満	9/7～10/2	10/31・11/1	学生手当 108,300円/月
防衛医科大学校学生	高卒(見込含) 24歳未満	9/7～10/2	11/7・8	学生手当 108,300円/月
航空学生	高卒(見込含) 21歳未満	8/1～9/11	9/23	俸給 159,500円/月～
看護学生	高卒(見込含) 24歳未満	9/7～10/2	10/24	俸給 159,500円/月～
一般曹候補生	18歳以上 27歳未満	8/1～9/11	9/19	俸給 159,500円/月～
2等陸・男子 海・空士 女子	18歳以上 27歳未満	下記へお問合せください。 8/1～9/11	9/28または29	俸給 159,500円/月～

※防衛医科大学校、防衛医科大学校、航空学生、看護学生は入学金・授業料の納入はありません。

※給与などは平成21年4月1日現在です。

[問] 自衛隊岩手地方協力本部二戸地域事務所 ☎23-2529

ホームページは <http://www.mod.go.jp/pco/iwate/>

コミュニティ・ジョブセンター が開設しました。

「NPOで就業体験をしたい」、「NPOについて知りたい」、「NPO活動をはじめたい」、「NPOを起業したい」というような方は、ぜひご相談ください。

相談は月曜から金曜(平日9:00～18:00)まで、毎日実施しています。

[問] コミュニティ・ジョブセンター ☎019-653-4211

動物ふれあい写真募集

動物が写っていれば、どんな写真でも結構です。四つ切サイズにし、額に入れて、下記まで応募ください。入賞者は9月23日(木)のわんわん運動会で表彰式(豪華商品付)を行います。

■作品展示期間 9月10日～14日

■展示場所 二戸ニコアのホール

[問] グリーン動物病院 ☎23-8257

【水環境課からのお願い】生ごみの水切りに協力お願いします！大量の生ごみの水分を含ませたままのごみ出しはご遠慮願います。台所で水切りを徹底してください！

町営住宅入居者募集

町では、町営住宅の入居者を募集します。

①町営大観森第1住宅

- 所在地 一戸町一戸字小井田87番地
- 募集戸数 1戸
- 建物詳細 昭和41年度建設
木造平屋建 2K 洋槽なし
- 住宅家賃 3,300円～5,200円程度
(平成21年度分)

②町営小鳥谷藤島北住宅

- 所在地 一戸町小鳥谷字中屋敷上10番地4
- 募集戸数 1戸
- 建物詳細 平成12年建設
木造2階長屋建 3LDK
- 住宅家賃 24,400円～36,300円程度
(平成21年度分)

■募集期間 8月17日～9月4日

■お問い合わせ及び入居申し込み

地域整備課 建築技術係
☎33-2111 内線281・282

多重債務者弁護士無料相談

■日時 8月26日(水)・9月9日(水)
10:00～15:00

■場所 二戸地方振興局1階
消費生活相談室

■対応弁護士 岩手弁護士会所属
[問] 二戸地方振興局 ☎23-9201
※前日まで電話で予約してください。

働く人の心とからだの 医師による無料相談

■日時 9月10日(木) 13:00～15:00

■場所 二戸市総合福祉センター
[問] 二戸・久慈地域産業保健センター
☎23-4466

二戸地区無料法律相談

■日時 8月18日(火)、9月1日(火)
10:00～15:00

■場所 二戸市役所 ※1日10人まで

■予約受付 二戸市 生活環境課
[問] 二戸市生活環境課 ☎23-3111
岩手弁護士会 ☎019-623-5005

まちの健康相談室からお知らせ

8月19日(水) 骨年齢測定
10:00～12:00

24日(月) 介護相談
13:00～15:00

25日(火) 心の悩み事相談
13:00～17:00

27日(木) 心配事相談
13:00～16:00

9月8日(火) 心の悩み事相談
13:00～17:00

10日(木) 心配事相談
13:00～16:00

[問] まちの健康相談室 ☎33-4535

戸籍だより (6月届出分)

☆お誕生おめでとう

名前 西館 大空 和夫	保護者 西館 大空 和夫	住所 中山軽井沢
西館 優花 彰	大平 優花 彰	一戸小井田
大平 彩花 彰	大平 彩花 彰	一戸小井田
平井 茜音 孝史	平井 茜音 孝史	一戸越田橋
山走 唯月 義治	山走 唯月 義治	小友下川原目

♡ご結婚おめでとう

泉久保 昭江 (中村 幸江)	遠山 和成 (大平 亜紀子)	小鳥谷中屋敷
菊地 雅也 (早坂 美奈子)	坂本 春夫 (新井 祐美)	西法寺閑屋
上平 和也 (新井 祐美)	田村 未次郎 (新井 祐美)	樺山下樺山

■ごめい福をお祈りします

森 ヨス (森 ヨス)	中里袖子田 85
小野寺 正子 (小野寺 正子)	一戸向町 96
根反 ミエ (根反 ミエ)	西法寺稻荷 90
大久保 クニ (大久保 クニ)	女鹿上女鹿 102
女鹿口 スエ (女鹿口 スエ)	小鳥谷女鹿口 99
田村 未次郎 (田村 未次郎)	小繫西田子 78
坂本 春夫 (坂本 春夫)	中山大畑 48
西館 佐悦 (西館 佐悦)	樺山深持 75
南館 ヨシ (南館 ヨシ)	中里中里 89
澤村 フミ (澤村 フミ)	一戸大沢 99
猪股 信男 (猪股 信男)	西法寺閑屋 71
坂ノ上 昭雄 (坂ノ上 昭雄)	樺山下樺山 81
谷地 嘉次郎 (谷地 嘉次郎)	小鳥谷仁昌寺 80
工藤 良七 (工藤 良七)	一戸砂森 81
小倉 サメ (小倉 サメ)	姉帶名子根 73
大畑 忠五郎 (大畑 忠五郎)	樺山深持 85
土川 由太郎 (土川 由太郎)	小友半在家 89
山中 與一郎 (山中 與一郎)	岩館沢田 85
東山 キク (東山 キク)	西法寺諏訪野 93
中川 トメ (中川 トメ)	西法寺西法寺 93

※広報への掲載を希望しない方は、届出の際に戸籍係にお申し出ください。

町民割引券について

奥中山高原ではまちの皆さん
温泉を利用しやすいよう、右の割
引券を発行します。

点線で切り取り、入浴時にプロ
ントに提出すれば右記の料金にな
りますので、ぜひご利用ください。



○奥中山高原温泉

町民割引券 (H21.9.30まで有効)

この券で朝朱けの湯・煌星の湯の日帰
り入浴(貸しタオル、ヨーグルトなし)
を下記金額でご利用できます。本券1枚
につき1人有効。

△煌星の湯 △朝朱の湯

おとな 600→500円	500→400円
こども 300→250円	250→200円

○奥中山高原温泉

町民割引券 (H21.9.30まで有効)

この券で朝朱けの湯・煌星の湯の日帰
り入浴(貸しタオル、ヨーグルトなし)
を下記金額でご利用できます。本券1枚
につき1人有効。

△煌星の湯 △朝朱の湯

おとな 600→500円	500→400円
こども 300→250円	250→200円